



北九州テクノサポート通信

Kitakyushu Techno-Support

北部九州地域の産業発展に貢献する



NPO法人 北九州テクノサポート

〒800-0003北九州市戸畑区中原新町2番1号

TEL: 093-873-1453 FAX: 093-873-1453

E-Mail: npo-kts@npo-kts.org.jp URL: http://www.npo-kts.org/

Vol.19

平成24年 夏号

NPO法人 北九州テクノサポート 会長挨拶

影山 隆雄



北九州テクノサポートは、平成15年4月にNPO法人化して、今年で10年の節目を迎えることになります。これまで地域の産業発展のために微力ですが活動できたのは、国、福岡県、北九州市の行政機関と関係団体、大学、高専、そして地域企業の皆様のご支援とお引き立てをいただいたお蔭であると深く感謝を申し上げます。

昨年の大震災とそれに続く原発事故、そしてタイの洪水の影響を受けて我が国の産業は大きな影響を受けましたが、最新の情報によれば、北部九州の自動車産業は、関係者のご努力により力強く回復してきており、今年度の生産は150万台を突破する見込みであるとのことです。しかし、超円高と原油高の進展、それに電力の供給問題などにより中小企業経営にとって厳しい状況が続いています。このような中、北九州経済が発展してゆくためには環境を軸に、成長著しいアジアの活力を取り込み、アジアと共に成長、発展して行くことが必要です。

このような中で、北九州テクノサポートは、企業や行政で長い間培った豊富な知識と経験、幅広い人脈を活用して、地域の活性化に貢献したいという熱い志をもったシニア専門家集団として活動して参ります。新たな10年に向けて省エネ商品など環境関連技術シーズによる新製品開発のコーディネート活動をはじめ環境経営のベースとなるエコアクション21活動の普及、エコテクノ展示会出展商品の販路開拓支援、産業人材育成フォーラムにおけるコーディネート支援などの取り組みを行ってまいりますので、何卒、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

Topics.1 平成24年度 北九州テクノサポート総会を開催

平成24年6月13日(水)に北九州テクノセンターにおきまして、平成24年度総会(第10回)が開催されました。冒頭、影山会長の挨拶、並びに議長選出し、次の3つの議案について、すべて異議なく了承されました。

第1号議案(平成23年度事業報告)

第2号議案(平成24年度事業計画)

第3号議案(役員改選)



NPO_KTS会員他有志一同

平成23年度事業報告

昨年3月に東日本を襲った大震災、それに引き続き福島原発の事故で、日本は大変な苦境に立たされたが、経済面では著しい不況を招くこともなく、返って円高が進んだためにその煽りをうけて北九州の産業界も苦戦を余儀なくされている。

これから相当な年数を要する災害復興～日本再生活動の中で、その直接的な影響を受けなかった西日本地域の各分野の方々の頑張りと、期待、役割が大きくなっている。

NPO法人北九州テクノサポート(KTS)の役割も然りであるが、この1年間下記のような活動を行ってきたもののその成果を量ることは難しく、これからKTSとしては「ものづくりの支援を通じて、産業振興をはかり、まちづくりに貢献する」を理念とし、企業及び行政機関や公的機関、大学・高専等と連携を密にして、ニーズに即応した支援や協力・派遣・調査、研究会等を通じ、プロモーターとしての役割を果たしていかなければならない。



平成24年度 NPO_KTS総会風景

平成24年度事業計画

NPO法人北九州テクノサポート(KTS)は、今年度も「ものづくりの支援を通じて産業振興を図りまちづくりに貢献する」を理念とし、北九州の発展に貢献する。

そのために、環境技術支援、産学連携支援、販売支援、ISO・EA21支援、IT支援、広報支援、EA21地域事務局福岡の各推進グループに所属する会員が保有する豊かな知識、経験、目利き力、人脈等のシーズをもって具体的かつ臨機応変に北九州の産業や学界および行政・支援機関のニーズに対応する。

これらに共通する目的は、北九州、特に中小企業のさらなる振興と競争力向上を図り、次世代の産業都市にするための支援を多角的に行うことである。

具体的な事業計画は次項に示すが、基本的な方針は海外展開を見据えた北九州地域のネットワークと連携の強化、それに基づく産学官やビジネスのマッチング支援、技術開発・商品開発支援、IT開発支援、および、北九州が標榜する地球環境保全の支援を通じて、安全・安心な住みよいまちづくりへの支援と貢献である。

微力ながら、北九州の産業を取り巻く厳しい産業環境を少しでも改善し、明るい未来を切り開きたい。

役員紹介

平成24年7月1日現在

会長
事務局長
副会長

影山 隆雄
小林 敏郎
石川 浩、重藤将美
安東 静、藤原利久

支援Gr長

事業企画Gr長
産学連携支援Gr長
ISO・EA21支援Gr長
環境技術支援Gr長
IT支援Gr長
販売支援Gr長
広報支援Gr長
EA21事務局長

石川 浩
影山隆雄
小川 勝
藤原利久
安東 静
山本倅暉
重藤 将美
藤原 成種

理事

安東 静、石井 剛、石川 浩、小川 勝、
影山隆雄、小林敏郎、重藤将美、白井 堯、
堤 増美、藤原成種、藤原利久、松隈 齊、
山本倅暉、吉開 悟

監事: 後藤禎二、竜口康文

平成24年6月13日の総会により理事が選任され、その後の臨時理事会において会長・事務局長・副会長が選任されました。



NPO_KTS懇親会風景

Topics.2



来賓挨拶:福岡県知事 小川 洋 様

北九州テクノサポートの記念すべき第10期の通常総会が盛大に開催されますことを心よりお祝い申し上げます。

北九州テクノサポートにおかれましては、国内有数のものづくり拠点である北九州地域を中心に、「モノづくりの支援を通じて産業振興を図り、まちづくりに貢献する」との理念のもと、豊富な経験と知識・技術を有する先輩方の力を結集し、技術・経営や産学連携など様々な支援を通じて、本県産業の振興にご尽力いただいております。影山会長をはじめ、会員の皆様へ厚く御礼申し上げます。

北九州テクノサポートは、平成15年の開設以来、環境やものづくりを中心に支援活動を強力に推進され日刊工業新聞社主催の第1回「モノづくり連携大賞」特別賞を受賞されるなど数々の実績を残されてきました。19年からの「福岡県自動車関連産業人材育成事業」、21年からの「ビジネスマッチング支援事業」、さらには、23年から「福岡ものづくり産業振興会議」の「ものづくりアドバイザー」派遣事業など常に、県内中小企業が抱える技術課題の解決にご尽力され、大きな成果を上げられてきたところです。現在、わが国経済は、欧州経済危機からの円高や原油高の進展、電力供給不安など、厳しい状況が続いております。このような状況の中、本県では、昨年12月、北九州市、福岡市とともに共同申請をした「グリーンアジア国際戦略総合特区」の指定を受け、環境を軸に、成長著しいアジアの活力を取り込み、アジアと共に成長、発展していく所存です。

今後は、この特区制度も大いに活用し、北九州市ともしっかりと連携しながら、わが国のグリーンイノベーションを先導することで、競争力の高い産業の集積を目指してまいります。引き続き、会員の皆様のご支援をお願いいたします。

最後に北九州テクノサポートのさらなる御発展と、お集まりの皆様のご健勝、御活躍を心から祈念いたします。

平成23年度 事業報告

平成23年度事業活動総括

本年度も福岡県や北九州市の支援を受けて、福岡ものづくり産業振興会議の「福岡ものづくりアドバイザー事業」や北九州活性化協議会の「北九州地域産業人材育成に関する委託事業」、九州工業大学工学府の「社会人プログラム」の地域プロモーション推進事業などの協同事業で大きな成果を上げた。

さらに、エコアクション21地域事務局福岡の認証・登録件数は、7年目を迎えた今年度も北九州市の助成を受けて一段と進み全国の地域事務局ランキングの6位に位置している。

また、ISO9001構築のコンサルティングの受託や、北九州市によるJICA研修「低炭素化のための環境技術」の講演を実施するなど活発な活動を展開した。

なお、人材協力の面でも、引き続き九州工業大学をはじめ各種の公的機関へも支援協力員を派遣するとともに、企業ニーズ調査を行った。

■主要活動実績は以下の通り

- ・福岡ものづくりアドバイザー事業へ協力支援
(福岡ものづくり産業振興会議)
- ・北九州地域産業人材育成に関する委託事業
(北九州地域産業人材育成フォーラム)
- ・「社会人プログラム」の地域プロモーション推進事業
(九州工業大学工学府)

- ・知的所有権活用推進事業
(北九州知的所有権センター)
- ・環境ビジネス促進調査事業
(福岡県中小企業団体中央会)
- ・中小企業テクノフェア2011販路開拓事業
(財)西日本産業貿易コンベンション協会)
- ・エコアクション21導入セミナー 計4回開催
(北九州市環境局環境モデル都市推進室、福岡県環境部環境保全課)
- ・エコアクション21実践講座開催 計4期実施 (同上)
- ・広報誌(夏号/冬号)の発行
(県、市、FAIS、大学、KTS賛助会員企業)



■産業人材育成合同会議

■「環境にやさしい事業所」表彰



北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■賛助会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPRー募集中>

NPO-KTS四季報Vol.19広告1-2



経営理念【社是】

私たちは、国家社会を支える重要な仕事をもつことを誇りとし、きびしい自己反省とたゆまぬ創造開発によって会社の発展と人間幸福の実現に努力します。

大光炉材は、ユーザーニーズへの迅速・確実なレスポンスをモットーに、独自の技術開発力を武器にダイナミックな展開をしています。

大光炉材株式会社

本社: 〒804-0054 北九州市戸畑区牧山新町1-1

TEL: 093-871-1631 (代) FAX: 093-883-2151

<http://www.taiko-ref.com>



産業廃棄物処理
プラスチックリサイクル
溶剤リサイクル

高野興産株式会社

本社北九州市八幡西区御開2丁目5-1 TEL 093-691-279

北九州エコタウン工場 北九州市若松区響町1丁目62-19

URL: <http://www.takano-k.com/>

Topics.3



来賓挨拶:北九州市長 北 橋 健 治 様

平成15年にNPO法人北九州テクノサポートとして設立以来、今年で10周年を迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。

また、北九州テクノサポートの皆様には、豊富な経験と知識を活かして、地域企業の経営支援や産学連携のコーディネートなど、幅広い分野において活動され、本市の産業振興に大いに貢献いただいております。この場をお借りして、厚くお礼を申し上げます。

東日本大震災の復興が本格化する中、昨今のヨーロッパ経済の減速や円高、電力問題など、本市のものづくり企業を取り巻く環境は、厳しいものがあります。この難局を乗り越えるためには、北九州テクノサポートの皆様が培ってこられた技術や技能を地域企業が抱える課題解決に役立てていただき、地域の中小企業のアドバイザーとしてご活躍いただくことをご期待します。

さて、北九州市は、「環境未来都市」として低炭素・省エネの推進と共に、高齢者や子どもが安心して暮らせるまちづくりを目指しております。さらに、「グリーンアジア国際戦略総合特区」の活用により、アジアの活力を取り込み、環境を軸とした産業の競争力を強化することで、次世代につながるまちづくりを進めています。

また、本市は来年2月に市制50周年を迎えます。今年の秋には、「B-1グランプリ」や「日本青年会議所の全国大会」など、全国規模のイベントが次々と開催されます。本市の魅力を発信する絶好のチャンスと捉え、市民の皆様とともにおもてなしをしたいと考えております。

結びに、NPO法人北九州テクノサポートの更なるご発展、並びに会員の皆様のご健勝、ご活躍を心から祈念いたします。

代読 北九州市 産業経済局 地域振興部 中小企業振興課長 庄村俊彦 様

平成23年度 各支援グループの活動状況

1.産学連携支援Gr.

平成23年度は、北九州地域が持続的な発展を続けていくため、競争力ある企業、成長力ある産業、活力ある地域を目指して、大学界と産業界、教育分野と地域社会が、互いに支え合いながら「産業人材育成の推進とその育成システムの構築」を図り、地域活力の向上を促していくという好循環の創出を支援した。当年度前半は、北九州産業人材育成フォーラムからの事業委託を受けて「長期インターンシップ事業」のコーディネーターとして対象企業選定、学生と企業とのマッチングを行った。後半は、九州工業大学大学院工学府からの委託により「社会人プログラム」への企業ニーズを大学と協力して調査に取組んだ。

また、福岡ものづくり産業振興会議におけるものづくりアドバイザー事業については従来の技能指導に加えて技術指導のため参加者を8名に増強して成果を挙げている。

九州大学大学院工学府の「ものづくり工学研究センター」より、社会人を対象とした中核人材育成コース(MOM講座)の企業への紹介と受講生募集並びにカリキュラムへの助言提案など、講座運営に関して協力支援を行った。加えて、北九州知的所有権センターの委託事業として北九州周辺にある企業の有望シーズの発掘や企業ニーズを調査することで、知的所有権の流通を促進する活動を行った。

2.環境技術Gr.

KTS以外の産業分野や人脈の拡大が必要なため、特に商工会議所との連携を模索してきたが、昨年6月の第9回KTS総会には初めて北九州商工会議所と苅田商工会議所から専務代理のご出席をいただいた。また、中小企業テクノフェアでは北九州商工会議所産業振興部長と共に2日間に渡って、17企業の展示ブースを訪問し、商工会議所及びKTSの理解のため展示企業との交流を行なった。

更に、九州産業経済局長ほか関係者がテクノフェア・ブースを視察し、KTSのビジネスマッチング活動に大きな関心が寄せられ、非常に有意義な交流となった。(財)西日本産業貿易コンベンション協会には心から感謝いたします。

また、北九州市環境産業推進会議やエネルギーマネジメント協会(ENEA)等に参加し交流を深めた。その上部団体の北九州ベンチャーイノベーションクラブ(KVIC)とENEAとの省エネ研究会との連携及びその顧問を務める九工大や北九大の教授との連携を模索したがまだまだ不十分である。

実績:「平成23年度環境ビジネス促進調査事業」(福岡県中小企業団体中央会北九州支所からの依頼)調査を実施した。

内容は、「北九州市における先進的な環境都市を目指す取組みと環境に配慮した経営を行う企業事例及びエネルギービジネス事例7件を調査・紹介」し、レポートした。

北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■賛助会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPRー募集中>

NPO-KTS四季報Vol.19広告3-4



株式会社 有蘭製作所

当社は、人生にやさしい福祉・医療器具の総合メーカーです!
障害児・者及び高齢者の必要とする義肢装具サービスの提供をします。

代表取締役 有蘭 央

〒805-8538北九州市八幡東区東田1-7-5

TEL:(093) 661-1010 FAX:(093) 661-1670

URL <http://www.arizono.co.jp/top/>



CASLE CO., Ltd.



2度減システム

地球高温化対策、CO2削減を目的として壁面緑化「2度減システム」を推進します!

代表取締役

渡邊 健司

Kenji Watanabe

カースル株式会社

URL <http://www.casle.co.jp>

〒800-0115 北九州市門司区新門司1丁目9-6 TEL:093-481-1212

Topics.4



来賓挨拶:公益財団法人 北九州産業学術推進機構 理事長 國武 豊喜 様

このたび北九州テクノサポートが法人化10周年を迎えられたことを、心よりお喜び申し上げます。

北九州テクノサポートは地域企業の支援や産学連携のコーディネートなど幅広い活動を通じて、北九州地域の産業の発展に多大の貢献をされました。これもひとえに、各会員の絶え間ない尽力の賜ものと敬意を表します。

日頃より「公益財団法人北九州産業学術推進機構(FAIS)」の事業に対してご理解とご協力を賜り、この場をかりて感謝申し上げます。

FAISでは大学等の研究シーズと地域企業などニーズをつなぐコーディネート活動や産学連携による研究開発への助成、研究成果の事業化支援、そして地域企業の振興に取り組んでいます。

昨年は「先導的低炭素化技術研究戦略支援」を作成し、アジアにおける先導的な低炭素化生産技術研究拠点を形成すると共に、グリーンアジア国際総合戦略特区、および環境未来都市の取り組みを技術開発面から強力にサポートし、低炭素化を軸に地域産業の振興を目指しております。このような動きもあり、環境アジアをキーワードにした、事業経営を行う企業が増加する状況になってきました。低炭素化に取り組む企業への協力と支援を通じて、関係機関そして皆様と共に北九州の地域経済を活力あるものになりたいと考えています。

テクノサポートの皆様には企業OBとしての豊富な経験や技術・専門知識を生かして、今後さらに力を発揮していただき、地域企業の未来を切り開く原動力となっていていただくことを期待しております。最後になりましたがNOP法人北九州テクノサポートの皆様方の今後ますますの活躍と発展を祈念してお祝いの祝辞といたします。

理事長代理 北九州産業学術推進機構 専務理事 尾上一夫 様

FAISの尾上です。10周年おめでとうございます。10年前、私は北九州市役所で産業政策を担当しておりまして、このNPO法人が立ち上がった時の関係者の方々の熱気と市民の期待が高まっていたことを覚えています。後日、多くの報道メディアにも取り上げられました。

FAISも昨年10周年を迎えました。この時期は、北九州で新しい産業振興の動きが始まった時期でもあります。これを機会に私どもも合わせまして頑張っていきたいと思っています。本日は理事長の國武が参加できませんので代理としてご挨拶申し上げます。



平成23年度 各支援グループの活動状況

3.ISO.EA21支援Gr.

(1)企業支援及び普及活動

北九州市・福岡県とエコアクション21地域事務局福岡の共催によるエコアクション21導入セミナー(3月2日、5月9日)が開催され講師及びカウンセラーを派遣した。

(2)EA21たより7号を編集・発行した。

(3)ISO9001の構築、認証登録のコンサルティング1社を実施した。

(4)Gr.会議及び研修会

①23年度の活動の総括及び24年度の活動計画の審議を行った(3月28日)同時に審査人の専門性についての研修を実施した。

②エコアクション21審査人・コンサルタントとしてのレベルアップのための相互研修並びに指導資料の作成会議を、一泊2日の合宿で4月22日・23日に行った(写真)

23年6月以降に4回の研修会を開催し、事業者役に役立つ審査の在り方について研修した。



EA21審査人相互研修

4.IT支援Gr.

主に中小企業を対象としたIT支援事業を推進・活動した。

その中で小倉北区のNPO法人のホームページ新規作成を支援した。

NPO-KTS内IT支援事業として、

①ホームページについて、大震災義捐金の掲載、各届出書改正の掲載、事業計画等の掲載・更新、広告の入替、等々を実施した。

②内業務につきExcelを活用した改善を推進した。

③IT支援事業推進の基礎体力強化事業を推進した。

北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■賛助会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPRー募集中>

NPO-KTS四季報Vol.19広告5-6



Kamigakigumi Inc.

株式会社 神垣組

神垣組(かがみがきぐみ)は左官工事と、環境に配慮したモルタル・コンクリート製品の開発製造を行う会社です。

■私たちは、建築左官の伝統的技術と新素材の開発で、今後とも社会に貢献し、次世代にこの技術を残していきたいと考えます。

URL <http://www.kamigakigumi.co.jp/>

代表取締役 神垣 三次

〒819-0165 福岡市西区今津5413-10

TEL(092)806-6070 FAX(092)806-6070



株式会社西井塗料産業

NISHI PAINT INDUSTRY CO.,LTD <http://www.nishii.co.jp/>



〒812-0007

福岡市博多区東比恵3丁目4番6号

お問い合わせ ご質問・ご相談はお気軽にお寄せください
092-415-4518 eigyoku-bu@nishii.co.jp

演 題:「グリーンアジア国際戦略総合特区とビジネスチャンスの拡大」

講 師:北九州市総務企画局 政策部長 牟田 英昭 様



(グリーンアジア国際戦略総合特区)

国際戦略総合特区は、「我が国の経済成長のエンジンとなる産業・機能の集積拠点の形成を目指す」もので、規制・制度の特例措置に加え、税制上、財政上、金融上の支援措置を特区に集中していこうとするものである。全国で7地域が指定され、北九州市は、福岡県、福岡市とともに、「グリーンアジア国際戦略総合特区」として指定を受けた。

国の新成長戦略では、ライフ・イノベーション、科学・技術・通信立国、雇用・人材、観光、金融、グリーン・イノベーション、アジア経済戦略の7つの戦略分野がある。本地域は、グリーン・イノベーション(環境)とアジア経済戦略(アジアに近い)の強みを活かしアジアの活力を取り込み、環境を軸とした産業の集積を図るものである。目標は、アジアの活力を取り込み、アジアから世界に向けて展開しアジアと共に成長することを目指し、数値目標として2020年までに約5兆円の追加売上高(国の目標『50兆円超』の約1割)を掲げている。技術をシステム(パッケージ)化し、環境で成長を目指す積極的リーダーシップの下、産学官民が結束して推進していく。

環境を軸とした産業をアジアでビジネス展開する場合の我が国の現状と本特区での課題として、次の5つが挙げられる。

1. 都市環境インフラのパッケージによる展開
2. 世界各国の環境ニーズに対応した製品の開発・生産
3. 循環型社会システムの構築と資源確保
4. マーケティング・セールス機能の充実
5. ヒト・モノ・カネの往来を加速



この5つの課題に対応するものとして、環境関連技術やアジアとのネットワークなどの地域資源をフルに活用した4つの解決策に取組む。

解決策Ⅰ:北九州市が設立した「アジア低炭素化センター」を核に官民が連携し、相手のニーズに応じて都市環境インフラに係る技術やノウハウ等を組み合わせ、商品化する。

解決策Ⅱ:パワー半導体、自動車、産業用ロボットなど世界有数の生産拠点や次世代有機ELなど世界最先端の研究シーズを活かし、研究開発から量産までの一貫した拠点を整備し、海外ニーズに対応した環境配慮型製品をアジアから広く世界へ展開する。

解決策Ⅲ:携帯電話等の小型電子機器や、今後、大幅な増加が見込まれる使用済み太陽光パネルなどについて、レアメタル等の新しいリサイクル分野での技術や社会システムを確立し、拠点化する。

解決策Ⅳ:ヒト・モノ・カネの往来を活発化させ、環境ビジネスを中心に、アジアの活力を取り込んでいく。

(ビジネスチャンスの拡大)

総合特区の特典を受けるには、指定区域が設定されているので、企業の方はご自身の事業所が指定地域へ入っているかご確認いただきたい。また地域協議会があり、地方公共団体と民間実施主体が一体となった推進体制を構築している。地域協議会の構成員は、自治体(福岡県、北九州市、福岡市)、民間企業(現在延べ約250社)、大学、研究機関等(九州大学、早稲田大学、北九州市立大学他)から構成される。

企業にとって、環境を切り口に新たなビジネスチャンスが広がり、新たな取組みへの国の支援(税制、財政、規制の特例措置等)が受けられる。支援を受けるには、事業の計画認定が必要となる。



(企業の皆様をお願いしたいこと)

環境を軸とした産業の新たな取組みを支援するため、規制改革の提案・事業実施する上で、今の国の仕組みを見直したり、新しく制度を作ってほしいという要望があれば、提案していただきたい。

本特区の支援措置を活用して事業の実施を希望される企業の皆様は、地域協議会への加入をお願いしたい。

総合特区制度の内容、支援措置の活用方法等について、ご質問やご相談があれば、お気軽にお問い合わせいただきたい。

【お問合せ先】北九州市総務企画局政策調整課

TEL:(093)582-2156 FAX:(093)582-2176

KTS 10周年 記念講演【Ⅱ】



演題:「九州経済の新しい動きと北九州テクノサポートへの期待」

講 師: 九州経済産業局 地域経済部長 平井 淳生 様

「NPO法人北九州テクノサポート」の10周年おめでとう御座います！

今夏、九州管内の電力需給逼迫が見込まれ、万が一に備えて計画停電の準備を進めております。しかしながら、停電は国民生活や生産活動に多大な影響が懸念されるため、なんとか節電努力で乗り越えたいと思っております。具体的には、ピーク期間・時間帯の使用電力を、2010年比10%以上を目標に、節電をお願いいたします。

さて、現在の日本経済の動向をみますと、2012年1～3月期のGDPが前期比+1.2%に上方修正(年率4.7%)されました。また、景気実感としての5月の現状判断DIIは+5ポイント上昇の51.8と良好です。九州地域経済も、2012年1～3月は緩やかながら持ち直してきました。ただ4月に入りますと、欧州経済の不透明性や円高等の影響により、生産は横ばいとなっています。

主力の自動車は、好調な国内販売を背景に生産が高水準に推移し、自動車関連産業の出荷額は3兆円となっています。2011年度は、震災後の挽回生産に加え、エコカー補助金による政策効果、さらには新型車投入効果もあり、九州における自動車生産台数は、132万台と過去最高を記録しています。

一方、電子部品デバイス工業は製品出荷が1兆円に及ぶ九州のリーディング産業のもう一つの柱であり、国内の約3分の1のシェアを誇ります。九州で生産されるICはイメージセンサやパワー半導体、車載向けのLSIなど高付加製品であり、生産の上昇に寄与しました。しかしながら、半導体産業は、アジア各国との激しい競争にさらされており、九州においても、工場閉鎖など産業再編の動きが見られます。

次に新しい「経済社会ビジョン」についてですが、経済産業省では、来年度以降の産業政策のあり方について、産業構造審議会の下に新産業構造部会を設置して、検討を進めており、その議論の内容についてご紹介します。

最近の日本経済の状況を一言で言えば、「やせ我慢」の縮小経済と言えます。

デフレ下で国内経済が低迷する中、企業は賃金や投資を抑制して価格競争を行う「我慢の経営」を続けており、付加価値を生み出す力が低下しています。統計を見ましても、2002年以降賃金は抑制され「生産性が上がっても所得が伸びない」状況が続いています。雇用の側面から産業を見ますと、①為替変動に強いシステム・ニッチトップ(隠れたチャンピオン)分野、②雇用創出が大きなヘルスケア分野、③関連機器や関連サービスなど波及効果が大きい新エネルギー分野が期待できます。

このような新しい産業分野を念頭におきつつ、「やせ我慢の縮小経済」から抜け出すための、「攻め」の空洞化対策が求められています。そのために検討されている項目のうち、北九州テクノサポートの事業に関連が深い4つの項目について説明します。



(1) グローバル化

海外展開を産業空洞化だと捉えるのではなく、国内生産や雇用に好影響を与える海外事業展開をおこなっているケースもあり、そのような取り組みに期待しています。そのような企業では、海外投資する一方、国内でも雇用が拡大傾向にあり、海外展開と国内事業の活性化が互いにシナジー効果を与えています。

(2) イノベーションの促進

研究開発や制度改革などのイノベーションによって潜在需要を掘り起こす必要があります。九州におけるイノベーション基盤を見ますと、公設機関の研究者、大学・高専との共同研究が活発で、大学等による特許出願数は対全国比10.4%を占めています。しかしながら、企業等を含めた特許出願や特許登録の全体では、対全国比でわずか1%程度に留まっています。これは高い技術を持っていても「プレゼンテーション力」や「ビジネスに繋げるためのネットワーク」等が弱いため、九州企業への知的財産の蓄積が乏しいと考えられます。北九州テクノサポートにおかれても、このようなサポートにより、九州における知財蓄積と活用に取り組んで頂くよう期待しています。

(3) 中小企業の潜在力・底力の発揮

規模が小さい中小企業には、技術面や経営面で様々な支援が求められます。そのような支援を行う機関にも得意不得意がありますので、支援ネットワークの強化にも取り組む必要があります。北九州テクノサポートは、技術面や人材育成面で強みをお持ちですから、是非、その強みを活かしたネットワーク作りにも御協力をお願いします。

(4) 産業転換を支える「人」づくり

製造業を支えているのはものづくり人材ですが、先ほどご説明した新しい産業構造を支える人材には、グローバル市場へ対応、既存事業の高付加価値化、新産業分野への進出など様々な才能と高いモチベーションが求められます。グローバル化人材育成のための若年者の海外経験支援、新分野・多様化した市場への対応としては女性の活躍など組織のダイバーシティ向上、異業種交流を通じた多様な価値観・能力の融合などがテーマになると思います。また、日本の大学・大学院への社会人の入学は国際的に見て極めて低い現状にありますが、社会人のリカレント教育を通じた新分野に適応する人材の育成にも高い潜在ニーズがあります。

このような取組を通じて産業構造の変革に成功すれば、成長3分野であるヘルスケア・子育て、新エネルギー、クリエイティブ産業による消費拡大効果は15兆円と見込まれ、新たに101万人の雇用創出が期待されます。その実現に向けて、NPO北九州テクノサポートを始め、関係各位のご協力・ご支援を宜しくお願い致します。

平成23年度 各支援グループの活動状況

5.販売支援Gr.

一昨年7月にスタートした販売支援Grとして最初の事業は、(社)九州ニュービジネス協議会と契約した「OB人材を活用したブラッシュアップサポート事業」で昨年6月にグループ有志と趣旨説明を兼ねたキックオフを行なった。その後、選別した3社を訪問してお願いしたが契約するには至らなかった。ただ、北九州企業100社の調査結果では販路開拓の重要性は82%になっているが、公的支援事業が有るため取組むのは非常に難しい。しかし、よい事例さえあれば、今後の販売支援Grの1事業として期待できている。

次に、(公財)西日本産業貿易コンベンション協会の販路開拓委託事業「中小企業テクノフェアビジネスマッチング支援事業」も3年目を迎え、九州地域の中小企業からの特徴ある展示品に対して県内企業とのマッチングを図った結果、来場者数の増加や商談成立への成果が上がり、年々展示企業数も増加する傾向となり非常に評価されてきている。

なお、一昨年計画し本年度着手予定であった市環境未来都市推進室主宰の「エコプレミアム商品販路開拓事業」については、予算化されず見送られた。

6. 広報支援Gr.

NPO法人北九州テクノサポートの目的及び組織、事業のPR・広報について平成19年夏から全面的にリニューアルした「北九州テクノサポート通信」の内容の充実と賛助会員並びに広告会員の獲得に重点を置き活動した。

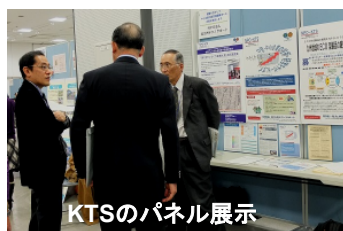
(1)会報「北九州テクノサポート通信」(年2回発行)の紙面刷新と広告支援企業の広告デザインを一新し、配布の迅速化を図りバックナンバーを全てホームページに公開した。

(2)各活動の展開や機会を活用し知名度アップのため大手企業のトップの新春放談を掲載した。また、特別公演「中小企業の生き残りせく略」(海外戦略と商品開発)株式会社松島機械研究所 代表取締役社長 松島徹氏の記事を掲載した。

(3)賛助会員10社、協力会員5社で、賛助会員+1社。

(4)「北九州ソーシャルビジネスメッセ」昨年に続き今年度も参加し、パネル展示をした。

参加企業は、社会的課題をビジネスで解決している団体NPOや企業、組合等66団体が出展、内NPO法人11団体も参加していた。



KTSのパネル展示

7. エコアクション21地域事務局 福岡

平成23年度の主な活動は次の通りである。

- ①前年度の活動を受け、平成23年度は、新規登録審査23件、中間審査123件、更新審査79件、合計225件の審査及び判定委員会での審議を実施した。
- ②平成23年度から北九州市自治体イニシャティブ・プログラム実践講座及び福岡県集合コンサルティングを年4回の開催とし、受講者の受講の機会を増やした。その結果、37事業者の参加をみた。
- ③加えて、幼稚園・保育園を対象とした「エコな先生講座」を実施し、幼児の環境シツケ教育の糧とするのを狙うとともに、エコアクション21認証取得への動機づけとなることを狙った。23幼稚園・保育園が参加し、熱心に取り組んだ。
- ④業種別ガイドラインが改訂され、そのうち「建設」「食品」ガイドラインについて、既認証登録事業者及び認証登録講座受講者に対し、説明会を開催した。
- ⑤エコアクション21認証登録事業者のうち、環境経営活動に積極的に取り組んでいる「環境にやさしい事業者」に対し、市長から感謝状を授与する制度が新設され、初年度として(株)春日工作所と(株)ジェイ・リライツの2社に感謝状と記念の盾が授与された。
- ⑥九州・沖縄地区10地域事務局からなるブロック会議を全国に先駆けて結成しているが、第2回ブロック会議を鹿児島市にて開催し、九州・沖縄地区審査人(山口県審査人も参加)の力量向上研修会も合わせて実施した。



【祝】
NPO法人
北九州テクノサポート
創立10周年記念

北九州地域の産業発展に貢献する

北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■賛助会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPRー募集中>
NPO-KTS四季報Vol.19広告7-8



株式会社 **メタルテック**

金属製品・外装パネル・ルーバー
光触媒工事・親水・防汚機能外装工事
福祉施設・病院工事・防音手摺工事・防カビ工事

光が当たらなくても、親水性発揮!!

雨が降るだけで汚れが落ちる
金属製防汚パネル

メタルウエットパネル
Metal Wet Panel

〒810-0012福岡市中央区白金1-9-3
Tel:092-523-1513 Fax:092-523-1532 URL <http://www.metaltech.jp/>
E-mail:metaltech@poplar.ocn.ne.jp



限りある資源を未来に 地球環境に貢献
株式会社コーセイジャパン

LCC(ライフサイクルコスト)の優れた省エネ!

当社は省エネ型電子安定器の開発メーカーです。
照明の明るさを落さず**35%~50%**の省エネが
可能な商品を取り揃えております。
低コストで長寿命(3年保証付)の安心省エネ!

またハロゲン代替用LED電球も販売開始しました。

〒800-0313 福岡県京都郡苅田町磯浜町1丁目16-9
TEL:093-436-6136 FAX:093-436-6141 <http://www.2e.biglobe.ne.jp/~neolux>



蛍光灯の省エネに
ネオルクSP



ハロゲンの省エネに
LEDビームランプ

84%省エネ

平成24年度 事業計画

平成24年度事業計画の概要

NPO法人北九州テクノサポート(KTS)は、今年度も「ものづくりの支援を通じて産業振興を図りまちづくりに貢献する」を理念とし、北九州の発展に貢献する。そのために、環境技術支援、産学連携支援、販売支援、ISO・EA21支援、IT支援、広報支援、EA21地域事務局福岡の各推進グループに所属する会員が保有する豊かな知識、経験、目利き力、人脈等のシーズをもって具体的かつ臨機応変に北九州の産業や学界および行政・支援機関のニーズに対応する。

■平成24年度 各支援Gr.の実施計画は、次のとおり。

1.産学連携支援Gr.

地域企業のニーズにマッチした産学官連携活動支援事業を展開する。

- (1)TLO案件等の技術紹介・普及活動支援を通じてシーズ(研究成果)の企業化・事業化の実現を目指した活動支援を推進する。
- (2)企業の技術ニーズに基づき大学・公設試のシーズ調査・探索を行うと共に必要に応じて新たな研究開発の企画への支援を推進する。
- (3)競争力ある企業、成長力ある産業、活力ある地域を目指して、北九州地域が持続的な発展を続けていくため、大学界と産業界、教育分野と地域社会が、互いに支え合いながら「産業人材育成の推進とその育成システムの構築」を図り、地域活力の向上を促していく好循環の創出を支援する。

2.環境技術支援Gr.

KTS会員の豊富な人脈と専門性を活用すると共に、KTS以外の関係機関とも交流・連携をして人脈や産業の幅を広げ、地域・全国・海外産業間の連携やサポートを行い地域の活性化を図る。緒に就いたものの不足している行政や民間機関との環境産業や省エネ研究会等の交流・協働の活性化を図る。

- (1)北九州市環境産業推進会議やエネルギーマネジメント協会(ENEA)・北九州ベンチャーイノベーションクラブ(KVIC)との省エネ研究会等への参加と協働。
- (2)KTSの更なる発展と産業・人脈の拡大を図るため経済産業局や商工会議所等との交流・連携による協働を図る。

3.ISO・EA21支援Gr.

地球温暖化防止は全世界的に重要な課題であり、北九州環境産業推進会議の取組みと協働して環境経営システムの取組拡大に貢献するとともに、国際規格の認証取得等の支援、及びエコアクション21の普及、認証取得に向けた活動を「EA21地域事務局 福岡」と連携する中で活発に展開する。

また、ISO等に関する経営システムの導入についても支援を推進する。

- (1)品質、環境等の国際規格の認証取得及び運用に関したコンサルティングについて、ニーズ情報の収集、単価・工数・内容を見直すなど対応策を立て支援受託につなげる。
- (2)北九州市が主催するエコアクション21実践講座、福岡県産業政策課によるエコ事業所支援事業など「EA21地域事務局 福岡」と連携した活動及び業界団体などと連携した普及活動を活発に行うとともに、北九州市環境産業推進会議を通じた環境経営システムの底辺拡大に貢献する。

4.IT支援Gr.

主に中小企業に提供できるIT支援事業を抽出し、個別の中小企業への活動に加え、工業団地等へのIT支援事業を展開する。

- (1)Excelを活用した業務改善支援等のIT課題の発掘・解決を推進する。
- (2)NPO・KTSの発展には、インターネットを含むITを活用したネットワークの構築、当NPOのホームページの充実・PRが今後必要不可欠であり、本年度もIT支援部会が推進すべき重要課題として推進する。

5.販売支援Gr.

中小・ベンチャー企業が開発した新規性・独創性・有益性など特徴ある製品について、KTS会員の豊富な人脈と専門性を活用して、県内を中心に全国さらに海外にも販路開拓・拡販を支援すると共に必要に応じて製品改良の提案を委託先や関係機関と連携推進して地域産業の活性化を図る。

- (1)「中小企業テクノフェアin九州2012」ビジネスマッチング支援事業が、昨年に引続き九州を主体とし中小企業の特徴ある展示製品に対し、県内企業の来場とビジネスマッチングの創出を図る。
- (2)「九州・国際テクノフェア2012」ビジネスマッチング支援事業の依頼が新たにあり、ものづくり技術・ネットワーク技術・新産業創出を対象とした九州を中心にアジア地域の企業による製品や技術展示に対し、上記支援事業と同時並行して取組みビジネスマッチングの成果を上げる。

6.広報支援Gr.

NPO法人北九州テクノサポートの認知度を高めるための広報誌「NPO法人北九州テクノサポート通信」を年2回作成。

また、今年度はKTS発足10周年にあたり記念誌の発行を行い、それをもって自治体等の各機関・業界団体・組合・企業等への広報活動を展開する。

北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■広告会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中>
NPO-KTS四季報Vol.19広告9-10



おかげさまで
生誕100年
CHIGUSA 2014
“2014年に生誕100周年を迎えます”

千草ホテル
Chigusa Hotel

北九州市八幡東区西本町1-1-1
TEL093-671-1131
http://www.chigusa.co.jp



The Actual is Limited
The Possible is Immense
MATSUSHIMA

代表取締役社長 松島 徹
株式会社 松島機械研究所

本社 北九州市八幡西区大字則松461 〒807-0831
■TEL 093-691-3731 ■FAX 093-691-3735
■http://www.matusima.co.jp

■完全国産化した、
パルスレーダー式マイクロ波レベル計

平成24年度 新規事業の活動計画

■北九州産業人材育成フォーラムの2年目を迎えて

KTSへの期待が増大！

石川 浩 副会長 事業企画Gr.長

昨年4月に立ち上がりKTSとして支援・協力を行ってきました「北九州産業人材育成フォーラム」が2年目を迎え、本年度は昨年の北九州市立大学国際環境工学部と九州工業大学を対象にした「長期インターンシップ事業」に、更に西日本工業大学と北九州高等専門学校を加え4校となり、地域の受入れ企業の倍増が必要であり、KTSとしてはコーディネータを1名増員して5名で地域企業 約200社に対して打診・開拓を推進中であり、現在68社から受入れ可能のご回答を頂いております。学生のインターンシップへの参加が益々活発化することが見込まれており、KTSの本事業に対する役割並びに貢献が大いに期待されている。

(1) インターンシップ研究プロジェクト

(地域連携型インターンシップの企画開発、計画の策定と事業化)

(2) 社会人プログラム研究プロジェクト

(中堅・中小企業の社会人ドクター取得促進のための地域システムの構築)

■IT支援事業の拡充を図る！

安東 静 IT支援Gr.長

工業団地を中心にパソコン講座を実施し、ホームページ作成支援、Excelを活用した業務改善支援活動等を推進してきたが、新技術情報を効率よく取得し支援力を強化して、活動の幅を広げるため、基礎体力強化事業ともいえるべきIT支援Gr内活動を推進する。

Open Officeのデータベースを使いこなすことから手始めに、順次テーマを選定して進める。

■地域企業のニーズにマッチした次の産学官

連携活動支援事業を展開する！

影山隆雄 産学連携支援Gr.長

- 1) TLO案件等の技術紹介・普及活動支援を通じてシーズ(研究成果)の企業化・事業化の実現を目指した活動支援を推進する。
- 2) 企業の技術ニーズに基づき大学・公設試のシーズ調査・探索を行うと共に必要に応じて新たな研究開発の企画への支援を推進する。
- 3) 競争力ある企業、成長力ある産業、活力ある地域を目指して、北九州地域が持続的な発展を続けていくため、大学界と産業界、教育分野と地域社会が、互いに支え合いながら「産業人材育成の推進とその育成システムの構築」を図り、地域活力の向上を促していく好循環の創出を支援する。

■ブラッシュアップサポート事業の販売支援を強化！

山本倅暉 販売支援Gr.長

北九州の中小企業が開発した特徴ある新製品について、KTS会員の豊富な人脈と専門性を活用して、県内や全国へ、さらには海外にも販路開拓・拡販への支援をすると共に、必要に応じて製品改良の提案を関係先と連携推進し、地域産業の活性化を図ることを目標とする。

そこで、一昨年(社)九州ニュービジネス協議会と契約した「OB人材を活用したブラッシュアップサポート事業」のサポーターとして昨年6月にスタートしたが期待した成果は得られなかった。

従って、この販路開拓事業だけへの参画を依頼するのではなく、製品開発を含めた支援事業として本年度は取組んで行きます。

何れにしても、よい事例さえあれば、販売支援Grの一事業として今後期待できるし、他のGr事業にも波及するはずだ。

エコアクション21地域事務局福岡

エコアクション21の普及促進及び事業者の認証取得への支援推進に努める。

- (1) 北九州市実践講座及び福岡県集合コンサルティングを年4回開催する。あわせて導入セミナーを4回開催する。
- (2) 業種別ガイドラインが改訂され、その内「産廃業者向けガイドライン」について、既認証登録事業者に対し説明会を開催する。
- (3) エコアクション21認証登録事業者のうち、市長から感謝状を授与する事業者を選考する。

北九州地域のモノづくり企業の紹介

■広告会員の広報コーナー

GL PIPE JOINTS 好評です

GASKETLESS管継手

■パッキンのいらない



新製品賞
'99中小企業
優秀新技術新製品賞

福岡県知事賞
中小企業先端技術展
福岡県知事賞

The Creative Corporation
株式会社 大創

■北九州市八幡東区西本町4-5-1
TEL:093-681-7195 / FAX:681-7196
E-mail:pd-otsuji@daiso.bz
URL <http://www.daiso.bz/>
□ご質問・お問い合わせは→専用FAX:093-681-7197

自動車用ボディ関係の板金プレス金型設計・製作で
世界をリードする金型専門メーカー



株式会社 ウチダ

代表取締役社長 内田 末男

九州工場 〒823-0011 福岡県宮若市宮田5 4 2 - 3 8

TEL (0949)33-3145 FAX (0949)33-3146

本社 〒574-0055 大阪府大東市新田本町1 2 - 6

TEL (072)874-3377 FAX (072)874-3839

E-mail : info@uchidanet.co.jp

URL : <http://www.uchidanet.co.jp>



微美 創造企業
MEMS SOLUTION

【事業：超精密金型部品の製造】

我々は、「超精密」にこだわり、お客様に喜んで頂ける製品を、常に作り続けることを経営の柱にしています。「どうしたら、急速に変化する市場ニーズに対応できるのか？」思考を繰り返し、知恵を出し、現状の枠にとらわれない広い視野で、夢のある物作りを実現して行きたいと考えております。

これからも「お客様の喜び＝我社の喜び」を追い続けていきます。



株式会社ワークス 代表取締役 三重野計滋(みえの けいじ)
〒811-4321 福岡県遠賀郡遠賀町大字虫生津1445 Tel:093-291-1778 Fax:093-291-2728
E-mail:info@wks-co.com <http://www.wks-co.com>



ミーム
(未夢)



道路トンネル検査点検専用車両



計測検査株式会社

北九州市八幡西区陣原1-8-3

TEL:093 (642) 8231

FAX:093 (641) 2010

<http://www.keisokukensa.co.jp>

計測検査株式会社

昨年、第二回北九州オンリーワン企業の認定を受けた同社を平成24年6月21日に影山会長が訪問して坂本社長からお話を伺いました。

■会社の沿革と業況

当社は、昭和49年(1974年)に各種構造物・機械設備等の総合的設備診断を行う会社として北九州市に設立しました。非破壊検査を主とした検査部、応力・振動測定を主とした計測部を中心に業務を行ってきました。その後、平成11年(1999年)の新幹線福岡トンネルの崩落事故をきっかけにトンネルの画像を撮影し、解析する構造調査部と金属組織や成分分析を行う技術部を加え、現在は4部門で業務を行っています。



近年、交通規制を行わずにトンネル壁面の画像撮影ができる車両(MIMM ミーム)を三菱電機株式会社と共同で開発し、短時間で効率の良い測定を行えるようになりました。

■今後の展開

高度成長期に建設された多くのトンネルや橋梁・高速道路などの社会資本は、予防保全の考え方を導入した維持管理・更新の手法により、費用の削減を図ることが喫緊の課題になっています。同時に、設計時の想定を上回る豪雨や地震による社会資本の変状に迅速に対応することも重要な課題になっています。当社は、これらの新しい課題に対応するため無線センサネットワークを活用したモニタリング監視システムを産学官連携で開発して実用化を進め、100億円企業を目指します。

■KTSへの期待

中小企業は日々、新商品、新技術、新事業の開発を行っています。KTS会員様の人脈、技術をいかし、販売支援や開発支援等、中小企業で不足している部分の幅広いご支援をお願い致します。



本社

トンネル走行MIMM

無線センサネットワークを用いた豪雨時斜面崩壊の予知

◇会社概要

■本社：〒807-0821 北九州市八幡西区陣原1丁目8番3号
TEL:093-642-8231 FAX:093-641-2010
■代表者：代表取締役 坂本 敏弘 ■設立：昭和49年11月
■資本金：1,000万円 ■従業員数：84名
■事業内容：1.非破壊検査 2.材料評価 3.構造解析 4.応力測定
5.振動測定 6.土木計測 7.環境関連計測 8.道路トンネル検査等
URL <http://www.keisokukensa.co.jp/>

株式会社 千草

平成24年6月、小川理事が同社本社を訪問、小嶋社長からお話を伺いました。

■会社の沿革と業況

当社は、大正3年に八幡町(現北九州市八幡東区)で誕生した「料亭千草」を源流に持ち、昭和16年に千草ホテルを創業、現在は北九州市内において婚礼施設、レストラン、カフェなどの飲食業全般を主な事業としている。



特に婚礼事業に関しては、市内に4つの結婚式場があり、他に婚礼衣裳、美容、装花、写真スタジオをオリジナルブランドで展開する。

■今後の展開

平成20年より、千草ホテルではカフェ中庭において「アート・ホスピタリティ」をテーマに現代アートの展覧会を開催している。千草ホテルは昭和60年代より現代アートのコレクションを広げ、地域の文化活動とも連携をしながら今日まで活動支援を続けてきた。カフェ中庭の展覧会では、現在までに11名の地域の若手アーティストの展示を開催してきたが、同時にアートをテーマにした料理開発や、ロートレックのレシピの料理、ショパンにまつわる料理、地産地消の料理など、新しい「感性」の商品開発に取り組んでいる。

現代アートの生み出す「感性」の力から、創造の根本にある知性と社会性を刺激し、顧客との関係から共創的に新しい価値を生み出すこともできる。これは一つの事例ではあるが、企業力(創造力)のボトムアップをはかり、新しいサービスや商品開発にも注力していきたい。

■KTSへの期待

KTS会員様より、環境についてのご指導を引き続きよろしくお願いいたします。



◇会社概要

■本社：〒805-0061 福岡県北九州市八幡東区西本町1丁目1番1号
TEL:093-671-1131 FAX:093-661-3155
■代表者：代表取締役社長 小嶋 一碩 ■設立：1941年1月
■資本金：5,000万円 ■従業員：200名
■事業内容：ホテル 結婚式場 レストラン 貸衣装
URL <http://www.chigusa.co.jp>

■会員・賛助会員の募集(当法人は、会員の会費で運営されております)

企業の第一線をリタイアされた方の第二の人生を地域社会発展のために貢献・恩返ししてみませんか…? 皆さん方が持っておられる知識・技術・経験・人脈は、次の社会に伝えなければならないし、それは義務でもあり権利でもあります。これからが本格的な社会貢献の時期なのです。当NPO法人を利用して、地域社会の潤滑剤として役立てて下さい。

■会員・賛助会員の会費

- ・正会員入会金：5,000円/年会費：5,000円
- ・賛助会員(法人)入会金：10,000円
年会費：20,000円/1口
- (個人)入会金：5,000円
年会費：5,000円/1口

■事務局便り(NPO-KTS10周年記念を迎えて)

今年私どもは、NPO法人開設以来10周年を迎えました。この間法人開設にご尽力された方々は言うに及ばず、会員・賛助会員各位並びに関係者の皆様の絶大なるご支援・ご協力に対し心より御礼申し上げます。

この度、過去10年間を振り返るとともに、これから先の10年に思いをいたすため、「創立10周年記念誌」を発行することといたしました。完成時には関係ある皆様にお配りする予定にしております。御期待いただきたいと思います。

⇒当NPO法人は、70数名のシニア技術者集団です、その中から貴社ニーズに合った専門家が適切にサポート対応します。

編集後記

今回は、北九州テクノサポートの創立10周年にあたり記念講演のページを倍増した。地域の企業・大学・行政等の活動内容が出来るだけ分かりやすくするよう努力しました。会員並びに地域の中小企業・行政機関の方にも広く「北九州テクノサポート」をご利用下さるようお願い致します。

広報支援Gr.長 重藤 将美

＜詳細情報は下記ホームページから＞

<http://www.npo-kts.org/>

賛助会員の申し込み受け付中

ホームページから申込用紙をダウンロードして下さい。
技術開発・環境経営の発展を支援します。

NPO法人 北九州テクノサポート

会報「北九州テクノサポート通信Vol.19」

平成24年7月10日 印刷発行

●発行・編集：NPO法人北九州テクノサポート

北九州市戸畑区中原新町2番1号 北九州テクノセンタービル8階806号室

TEL/FAX:093-873-1453 E-mail: npo-kts@npo-kts.org

■重藤デザイン20120710-1400

